

は し が き

「皮膚科の臨床」誌において、アトピー性皮膚炎を特集とするのは20年ぶりとなります。20年前と比較すると、アトピー性皮膚炎をめぐる状況は大きく変化しつつあります。2018年4月、アトピー性皮膚炎の新薬として、デュピルマブが発売されました。また、新たな薬剤開発も国内で続々と進んでおり、病態についても新たな知見が出てきています。まさに今、『常識』とされているアトピー性皮膚炎の情報を、整理する必要があるのではないのでしょうか。

そこで今回本誌では、「変わりつつあるアトピー性皮膚炎の常識 最新の知識と治療の極意」として、アトピー性皮膚炎の最新知識・治療の極意をまとめた特集を企画いたしました。

第Ⅰ章は、昔と比べて変化しつつある点や新しいポイントに重点を置いた、総合的な内容を目指しました。第Ⅱ章は、実臨床に則した内容をまとめ、そして各先生方の治療の極意をお教えいただく構成としております。

皮膚科医のみならず、すべての“アトピー性皮膚炎診療”にかかわる先生方に、本書がお役立ていただけましたなら幸いです。

2019年5月

「皮膚科の臨床」編集委員会

土田 哲也

五十嵐敦之

相馬 良直

林 伸和

佐伯 秀久